

平成25年7月の「大阪森林便り」

国産合板、価格上昇続く

－ 年初比2割高 増税控え駆け込み需要



国産合板の取引価格の上昇が続いています。1月上旬の直近安値に比べ22%高くなっています。針葉樹構造用合板は前月末に比べ2%上昇しました。国内の住宅需要の拡大に加え、マレーシアで天候不順などもあり原料となる丸太不足が長期化しています。

合板メーカーは増産体制を強めていますが、発注の増加で5～6月もさらに在庫が減りそうです。

(2013年6月8日 日本経済新聞記事から抜粋)

国産丸太8%上昇 － 5月卸値 輸入品の上昇受け



全国森林組合連合会がまとめた5月の国産丸太の卸価格は、桧柱用丸太が前年同月比8%上昇しました。

5月下旬までの円安により輸入丸太の取引価格が上昇。割安な国産丸太への引き合いが強まりました。

(2013年6月21日 日本経済新聞記事から抜粋)

「森は海の恋人 in 大阪」 － 40人が植林

高槻摂津峡でウナギの森づくり



森と川と海をつなぐ命の森づくり運動「森は海の恋人 in 大阪」が5月19日、高槻市立摂津峡青少年キャンプ場周辺で行われ、参集した約40人が落葉広葉樹を植林しました。(2013年6月20日東洋木材新聞記事より抜粋)